

熊本大会へのご案内

昭和52（1977）年の第32回大会以来39年ぶりの熊本開催になります。

九州の中心に位置する熊本県は、世界農業遺産・世界ジオパークにも認定された広大なカルデラを有する「阿蘇」、有明海や八代海、東シナ海の大海原に囲まれた「天草」、九州山地から流れだす日本一の清流川辺川や変化に富んだ流れの日本三急流球磨川の貫流する「人吉・球磨」、豊穡の海と共生の道を歩み始めた「水俣・芦北」など、自然豊かな地域です。このバラエティ豊かな大自然のなかで、観察だけでなく思いっきり体感・体験を行っていただきたいと思います。



- 1 大会主題 身近なところからの生物教育
- 2 主催 日本生物教育会・熊本県高等学校教育研究会生物部会
- 3 期 日 平成28年8月5日（金）～8日（月）
- 4 主会場 東海大学熊本キャンパス（熊本県熊本市東区渡鹿9丁目1-1）
- 5 大会日程（予定）

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
5日 (金)							全国理事会					
6日 (土)	受付 8:30～	開会式 総会	記念 講演	昼食	研究発表	休	研究発表	移動	意見 交換会			
7日 (日)	受付 8:30～	研究協議	現地研修（半日コース）									
			現地研修（宿泊コース）									
8日 (月)	現地研修（宿泊コース）※天草コースのみ9日（火）まで											

6 記念講演

「生物としてのヒトを考える：類人猿を通して学ぶヒトの心の進化的基盤」

講師：京都大学野生動物研究センター熊本サンクチュアリ所長 平田 聡 教授

7 研究発表

第1分科会 教材・実験観察に関するもの

第2分科会 生物教育・指導法に関するもの

第3分科会 自然・環境教育に関するもの

第4分科会 学術研究に関するもの

8 研究協議（検討中）

9 ポスターセッション

大会主題に即した研究内容（教員、生徒ともに申し込み可能）

10 現地研修（予定）

A 阿蘇コース「山で学び・遊ぶ ～遷移の全てを阿蘇から～」(1泊2日)

世界最大級のカルデラをもち、今も活動を続ける阿蘇火山を中心にして、荒原、草原、低木林、極相林が同心円状に広がる遷移の各ステージを歩きます。

B 人吉・球磨コース「川で学び・遊ぶ ～日本一の清流の生き物たち～」(1泊2日)

ブラナリアから尺鮎、はたまた、日本初のダム本体撤去工事が行われている荒瀬ダムなど、日本一の清流川辺川と日本三急流の球磨川を体感します。

C 天草コース「海で学び・遊ぶ ～サンゴの海と海藻の海の生き物たち～」(2泊3日)

対馬暖流に洗われる天草西海岸には、さまざまなサンゴが生息します。また、リマン海流の影響からか、ワカメなどの海藻も生育します。多様性に富んだ天草の海を覗いてみます。

D 水俣・芦北コース「自然との共生を学び・考える ～魚湧く海と人々の暮らし～」(1泊2日)

水俣は、人々の努力で環境モデル都市に生まれ変わりました。語り部の話を聞いて水俣病の原点に触れ、伝統漁法のうたせ船で魚湧く海を体験します。

E 緑川河口コース（半日）有明海湾中部の広大な干潟でベントスを採集します。

F 江津湖コース（半日）市街地に隣接する阿蘇の伏流水の湖で生き物を探します。

G 立田山コース（半日）照葉樹が茂る二次的天然林で森の生き物の暮らしを学びます。

H 熊本サンクチュアリコース（半日）たくさんの *Pan* 属に出会えます。

11 大会参加費（予定）

6,000円（現地研修にかかる費用は別途必要）

生徒については大会参加費は不要

12 熊本大会事務局

熊本県立東稜高等学校 田畑清霧

〒862-0933 熊本県熊本市東区小峯4丁目5-10 mail:tabata-s@mail.bears.ed.jp